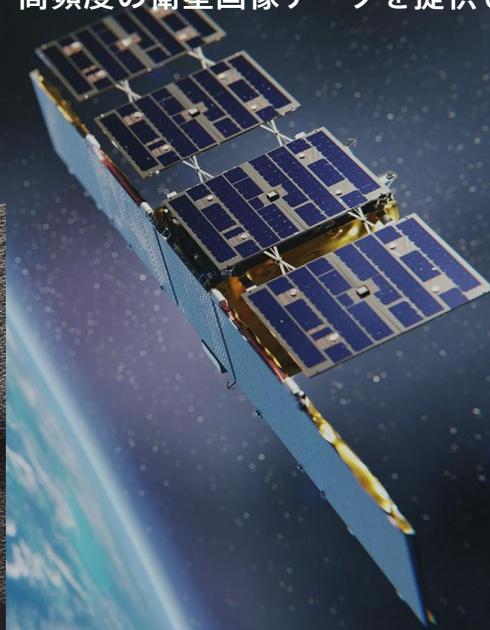


Every Square Meter, Every Hour ~ 1km² のデータを 1 時間毎に~

ICEYE は地球上のあらゆる場所で高解像度・高頻度の衛星画像データを提供します。



© 2024 ICEYE Oy

ICEYEレーダー衛星の特長

ICEYE社は、Xバンドの合成開口レーダ (Synthetic Aperture Radar: SAR) を搭載した小型衛星コンステレーションを構築・運用しており、最高で1m以下の解像度を持つ衛星画像の提供が可能です。2018年以降、100kg以下の小型衛星を複数軌道に投入しており、これらを活用することで、地球のあらゆる場所で解像度の高い画像を高頻度で撮影することができます。

1

全天候型で 雲の影響無し

SAR衛星は光学衛星とは異なり
雲による影響を受けません

2

柔軟な撮影モード

様々な撮影モード
あらゆる業務に対応可能

3

高頻度での撮影が可能

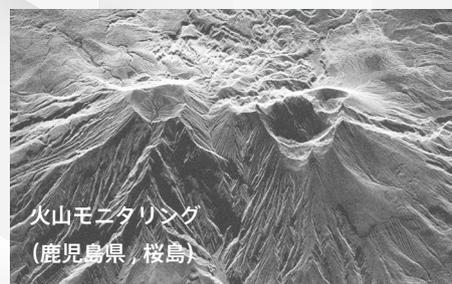
小型SAR衛星を約20基運用
3-4回/日の撮影が可能

利用事例

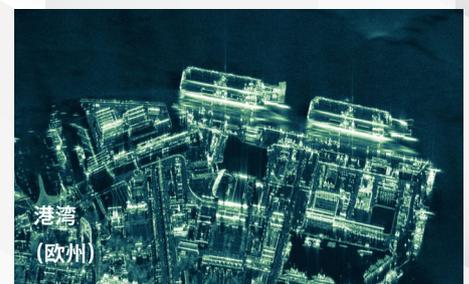
インフラ設備の定点観測



災害危険エリアのモニタリング



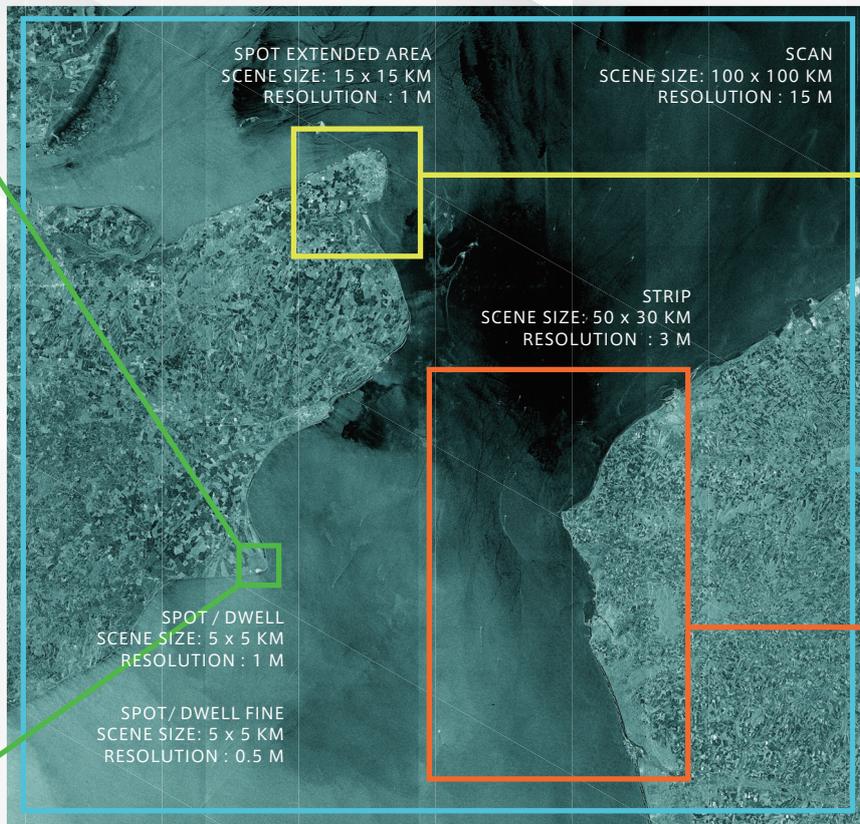
港湾モニタリング



多様な撮影モード

ICEYE では、お客様の業務に応じて様々な撮影モードをご用意しております。衛星画像に求めるスペック（解像度、撮影範囲、撮影対象から取得したい情報、納期等）に合わせて最適な撮影方法の選択が可能です。

ICEYE レーダー衛星の撮影モードと特長



SPOT モード

ICEYE の SPOT モードは、非常に高解像度(最大 50 cm)かつ最大撮影エリア (15km x 15km) の衛星データであり、詳細なモニタリングを必要とするアプリケーションに最適です。

DWELL モード

従来の10秒の観測時間に対し、25秒間特定の区域に焦点を当てることで、人工物と自然物を見分けやすくし、移動している車両を強調表示します。誰でも素早く状況を把握することができます。

SPOT モード (EXTENDED)

SPOT モードの最大撮影エリア (15km x 15km) です。

SCAN モード

最大 840kmx100km の広域撮影を実現。海上における広範囲監視を必要とする安全保障機関にとって、重要インフラや不審活動の検知・把握に極めて有効な手段となります。

STRIP モード

広大な海域や陸地での変化を検出するのに最適です。違法伐採等の違法行為の迅速な把握や、国境や沿岸地域、その他監視したい場所を継続的にモニタリングすることも可能です。

© 2024 ICEYE Oy

撮影スペック

撮影モード	STRIP	SPOT	SPOT FINE	DWELL	SCAN
NOMINAL SWATH WIDTH X LENGTH [KM]	30 X 50	5 X 5	5 X 5	5 X 5	100 X 100
SINGLE LOOK SLANT RANGE RESOLUTION [M]	0.5 TO 2.5	0.5	0.25	0.5	N/A
SINGLE LOOK AZIMUTH RESOLUTION [M]	3	0.25	0.1	0.05	N/A
GROUND RANGE RESOLUTION [M]	3	1	0.5	1	15
GROUND AZIMUTH RESOLUTION [M]	3	1	0.5	1	15
NOMINAL COLLECTION DURATION [SEC]	10	10	15	25	15
RANGE LOOKS	1	1	1	1	1
AZIMUTH LOOKS	1 TO 2	4	5	20	1
INCIDENCE FOR NOMINAL PERFORMANCE [DEG]	15 - 30	20 - 35	20 - 35	20-45	21 - 29
NESZ [DB]	<-21.5 TO -20	-18	-15	-17	-22.2 TO -21.5
MAXIMUM IMAGE LENGTH [KM]	500	N/A	N/A	N/A	500

NTT DATA

<https://www.aw3d.jp/>



「AW3D®」は、日本国内における株式会社NTTデータと一般財団法人リモート・センシング技術センターの登録商標です。